



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営管理本部長 (氏名)齊藤 正視 (TEL) 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,721	△9.9	148	△39.5	306	3.1	281	△12.3
24年3月期第2四半期	8,565	8.0	245	—	297	—	321	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 260百万円(△13.4%) 24年3月期第2四半期 301百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.44	—
24年3月期第2四半期	9.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,167	7,925	29.2
24年3月期	28,824	7,731	26.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,925百万円 24年3月期 7,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.8	350	36.7	550	43.2	500	48.4	14.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	34,294,400株	24年3月期	34,294,400株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	904,600株	24年3月期	902,653株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	33,390,463株	24年3月期2Q	33,394,615株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業的前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかながら回復の動きが見られたものの、長期化する円高や欧州債務問題に加えて、新興国経済の減速などにより依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く建設業界におきましては、遅れていた震災復旧・復興関連事業が始まり、首都圏においても再開発・インフラ整備等の大型プロジェクトが進行している一方、その他地域での公共投資や民間設備投資は低迷しており、全体としては依然として厳しい環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、国内では地域毎の保有鋼材の最適化に努め、採算管理の徹底による原価の低減や賃貸価格の適正化に取り組み、海外ではタイ丸建株式会社を軸として東南アジア市場への展開に注力し、収益基盤の強化を図りました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高77億2千1百万円（前年同四半期比8億4千4百万円、9.9%減）、営業利益1億4千8百万円（同9千6百万円、39.5%減）、経常利益3億6百万円（同9百万円、3.1%増）、四半期純利益2億8千1百万円（同3千9百万円、12.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

賃貸稼働量は前年同四半期比微増となったものの、販売物件の減少により、売上高は60億4千8百万円（前年同四半期比9億7千5百万円、13.9%減）、セグメント利益は3億5千9百万円（同1億8千4百万円、33.9%減）となりました。

②重仮設工事業

前期と同様に受注工事案件の小口化により、売上高は8億5千2百万円（同2千5百万円、2.9%減）となりましたが、利益率の改善によりセグメント利益は8百万円と、前年同四半期の6千2百万円のセグメント損失から7千1百万円の改善となりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

官庁関係工事の受注物件が増加したため、売上高は8億2千1百万円（同1億5千7百万円、23.8%増）、セグメント利益は5千2百万円（同2千1百万円、71.4%増）と増収増益となりました。

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と必要な調整を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少額8億6千5百万円、未成工事支出金の減少額2億3百万円などにより、前期末比16億5千6百万円減の271億6千7百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少額10億1千8百万円、借入金の減少額9億7千1百万円などにより、前期末比18億5千万円減の192億4千2百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益2億8千1百万円の計上などにより、前期末比1億9千3百万円増の79億2千5百万円となり、自己資本比率は2.4ポイント増の29.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少額10億1千8百万円があったものの税金等調整前四半期純利益3億1千6百万円の計上に加え、売上債権の減少額8億6千5百万円やたな卸資産の減少額2億3千9百万円などにより、5億円の資金の増加（前年同四半期比6億6千2百万円の収入減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3百万円の資金の増加（同4千万円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入4億円がありましたが、短期借入金純減少額6億5千万円や長期借入金の返済による支出7億2千1百万円などにより、10億5千6百万円の資金の減少（同4千1百万円の支出減）となりました。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前期末と比べて5億5千3百万円減少し7億3千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年4月27日に公表しました平成25年3月期通期連結業績予想数値を修正いたします。詳細は、本日平成24年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,000	百万円 300	百万円 400	百万円 350	円 銭 10.48
今回修正予想 (B)	17,000	350	550	500	14.97
増減額 (B-A)	—	50	150	150	—
増減率 (%)	—	16.7	37.5	42.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	16,861	256	384	337	10.09

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,287	734
受取手形及び売掛金	6,776	5,911
建設機材	8,771	8,744
商品	29	20
材料貯蔵品	303	292
未成工事支出金	238	34
その他	286	190
貸倒引当金	△86	△77
流動資産合計	17,607	15,851
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,105	8,105
その他(純額)	1,150	1,170
有形固定資産合計	9,256	9,276
無形固定資産		
	6	4
投資その他の資産		
その他	2,324	2,402
貸倒引当金	△369	△366
投資その他の資産合計	1,954	2,035
固定資産合計	11,217	11,316
資産合計	28,824	27,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,850	4,831
短期借入金	9,112	8,840
未払法人税等	34	42
引当金	15	18
その他	1,345	1,506
流動負債合計	16,358	15,239
固定負債		
長期借入金	3,269	2,570
引当金	283	197
その他	1,182	1,236
固定負債合計	4,735	4,003
負債合計	21,093	19,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	2,603	2,818
自己株式	△125	△125
株主資本合計	6,053	6,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	△1
土地再評価差額金	1,830	1,830
為替換算調整勘定	△179	△172
その他の包括利益累計額合計	1,677	1,656
純資産合計	7,731	7,925
負債純資産合計	28,824	27,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,565	7,721
売上原価	7,325	6,578
売上総利益	1,240	1,143
販売費及び一般管理費		
役員報酬	68	69
給料手当及び賞与	454	458
福利厚生費	98	99
地代家賃	97	86
退職給付費用	33	40
その他	242	240
販売費及び一般管理費合計	994	994
営業利益	245	148
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
持分法による投資利益	101	127
貸倒引当金戻入額	4	6
訴訟損失引当金戻入額	—	61
その他	17	19
営業外収益合計	129	220
営業外費用		
支払利息	64	52
その他	12	10
営業外費用合計	76	62
経常利益	297	306
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	298	316
法人税、住民税及び事業税	23	34
法人税等還付税額	△47	—
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	△23	34
少数株主損益調整前四半期純利益	321	281
四半期純利益	321	281

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	321	281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	7
その他の包括利益合計	△20	△21
四半期包括利益	301	260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301	260
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	298	316
減価償却費	93	87
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△25	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	8
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△8	—
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△89	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	△10
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△72
受取利息及び受取配当金	△5	△5
支払利息	64	52
持分法による投資損益 (△は益)	△101	△127
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	218	865
たな卸資産の増減額 (△は増加)	538	239
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	13	91
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	40	2
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7	△1,018
未払消費税等の増減額 (△は減少)	30	46
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	131	101
その他	△3	△10
小計	1,165	543
利息及び配当金の受取額	30	37
利息の支払額	△67	△53
法人税等の支払額	△13	△27
法人税等の還付額	47	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,162	500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	3	—
関係会社株式の取得による支出	△38	—
有形固定資産の取得による支出	△13	△8
有形固定資産の売却による収入	—	10
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1	1
その他	11	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	3
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700	△650
長期借入れによる収入	600	400
長期借入金の返済による支出	△988	△721
リース債務の返済による支出	△9	△19
配当金の支払額	—	△66
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,097	△1,056
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27	△553
現金及び現金同等物の期首残高	1,326	1,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,354	734

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,024	877	663	8,565	—	8,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,024	877	663	8,565	—	8,565
セグメント利益又は損失(△)	543	△62	30	511	△265	245

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△265百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,048	852	821	7,721	—	7,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	6,048	852	821	7,722	△0	7,721
セグメント利益	359	8	52	420	△271	148

(注) 1 セグメント利益の調整額△271百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。